

<オンライン講演&座談会イベント>



発達障害 × 女性 × ひきこもり経験

～交差する複雑な「生きづらさ」を解きほぐす対話～

日時：2024年2月24日（土）14：00～16：30

Zoomによるオンライン開催



『ひきこもり白書2021』では従来2～3割と考えられていた「女性当事者」の割合が6割を超えるなど、ジェンダーの問題が注目され、また近年ひきこもり経験の背景に「発達障害」をもつケースも少なくないことから、支援のあり方が問い直されている。

「女性」と「発達障害」
「ひきこもり経験」と「発達障害」
「女性」と「ひきこもり経験」

それぞれのマイノリティ性が互いに重なる場所で当事者たちが抱える特有の生きづらさ、さらにこの3つの困難が交差しあうときに直面する複雑な生きづらさ——これらを言葉にしていく営みは、当事者自身を含めまだはじまったばかりだといえる。

本イベントでは、自身もその当事者としてインタビュー調査に基づく研究に従事された澤田有希さんに話題提供をいただき、関連領域でご活動されている恩田夏絵さんと貴戸理恵さんをお交えての座談会を通じて、見過ごされてきた女性の発達障害とひきこもり経験の交差における「生きづらさの地図」を皆さんとともに考える。



プログラム

① 話題提供（14：00～14：50）

「女性のひきこもりと発達障害」

澤田有希さん（関西学院大学大学院修士課程修了）

② 座談会（15：00～16：30）

「お茶を飲みながら、
生きづらさの地図を作ろう」

恩田夏絵さん（ひきこもりUX会議共同代表理事）

貴戸理恵さん（関西学院大学教授、不登校研究）

澤田有希さん（関西学院大学大学院修士課程修了）

司会：小川浩（大妻女子大学教授）
澤田唯人（大妻女子大学特別研究員）

参加方法

右記QRコード、または、
下記URLよりお申込みください。
ご関心のあるすべての方に
ご参加いただけます。

<https://forms.gle/pZsRKndN22Wt7RJU9>



（当日チャットでご質問等をお寄せいただけます）